|  |
| --- |
| **社会福祉法人秋篠茜会** |
| **２０２０年度事業報告書** |

自　２０２０年４月　１日

至　２０２１年３月３1日

[Ⅰ．法人の概況 4](#_Toc73030433)

[Ⅱ．評議員の状況（２０２１年４月１日現在） 5](#_Toc73030434)

[Ⅲ．理事の状況（２０２１年４月１日現在） 5](#_Toc73030435)

[Ⅳ．監事の状況（２０２１年４月１日現在） 5](#_Toc73030436)

[Ⅴ．評議員選任・解任委員会の状況（２０２１年４月１日現在） 5](#_Toc73030437)

[Ⅵ．役員並びに評議員等の報酬総額 5](#_Toc73030438)

[Ⅶ．運営組織（組織図）（２０２１年４月１日現在） 5](#_Toc73030439)

[Ⅷ．職員の状況 6](#_Toc73030440)

[１．職員の配置状況（２０２１年４月１日現在） 6](#_Toc73030441)

[２．職員配置計画の到達状況 6](#_Toc73030442)

[３．職員採用・雇用管理等の状況 7](#_Toc73030443)

[Ⅸ．許認可に関する事項（定款変更および指定変更） 7](#_Toc73030444)

[Ⅹ．業務の適正を確保するための体制等の整備と運用状況 8](#_Toc73030445)

[１．情報保存管理体制に関する事項 8](#_Toc73030446)

[２．効率性確保体制に関する事項 8](#_Toc73030447)

[３．法令遵守体制に関する事項 8](#_Toc73030448)

[４．雇用管理、育成・教育体制に関する事項 8](#_Toc73030449)

[Ⅺ．２０２０年度事業の状況 9](#_Toc73030450)

[１．事業の経過と概況 9](#_Toc73030451)

[（１）高齢者事業分野 9](#_Toc73030452)

[（２）保育事業分野 10](#_Toc73030453)

[２．設備投資の状況 10](#_Toc73030454)

[(１)特別養護老人ホームこがねの里拠点 10](#_Toc73030455)

[(２)介護予防サイクルハウス・あこだ拠点 10](#_Toc73030456)

[(３)小規模多機能ホームあかりの家拠点 10](#_Toc73030457)

[(４)あかね保育園拠点 10](#_Toc73030458)

[３．評議員会、理事会に関する事項 11](#_Toc73030459)

[４．評議員選任・解任委員会に関する事項 11](#_Toc73030460)

[５．２０１９年会計年度分の監事監査の状況 12](#_Toc73030461)

[６．会計に関する専門家の活用状況 12](#_Toc73030462)

[(１)２０１９年会計年度の決算調査 12](#_Toc73030463)

[(２)２０１９会計年度の決算残高点検 12](#_Toc73030464)

[(３)２０２０年会計年度の上半期決算調査 12](#_Toc73030465)

[７．所轄庁からの報告徴収・検査等への対応状況 12](#_Toc73030466)

[８．業務の適正、サービスの確保のための教育・研修実施状況 12](#_Toc73030467)

[９．苦情・相談内容、件数 14](#_Toc73030468)

[10．第三者評価、運営推進会議等の開催状況 14](#_Toc73030469)

[（１）運営推進会議開催状況 14](#_Toc73030470)

[11．社会福祉充実残額および社会福祉充実計画の策定状況 15](#_Toc73030471)

[12．社会福祉事業の実施状況 15](#_Toc73030472)

[（１）特別養護老人ホーム 15](#_Toc73030473)

[（２）こがねの里ショートステイ 16](#_Toc73030474)

[（３）こがねの里デイサービスセンター 16](#_Toc73030475)

[（４）介護予防サイクルハウス・あこだ 17](#_Toc73030476)

[（５）小規模多機能ホームあかりの家 17](#_Toc73030477)

[（６）あかね保育園（保育所） 19](#_Toc73030478)

[（７）奈良市地域子育て支援センターＰｅａｃｅ（地域子育て支援拠点事業） 19](#_Toc73030479)

[13．公益事業の実施状況 22](#_Toc73030480)

[（１）居宅介護支援事業（ケアプラン作成） 22](#_Toc73030481)

[（２）企業委託型保育事業 23](#_Toc73030482)

[（３）高齢者生活共同運営住宅事業 23](#_Toc73030483)

[14．地域における公益的な取組・活動等の状況 24](#_Toc73030484)

[（１）社会福祉法人減免、低所得者への法人独自減免の実施状況 24](#_Toc73030485)

[（２）ボランティア組織の活動状況 24](#_Toc73030486)

[（３）その他活動 25](#_Toc73030487)

# Ⅰ．法人の概況

|  |  |
| --- | --- |
| 法人の名称 | 社会福祉法人秋篠茜会 |
| 設立年月日 | １９９９年９月２８日 |
| 許可年月日 | １９９９年９月２２日　高奈　第３４３号 |
| 主たる事務所 | 奈良市西大寺赤田町一丁目７番１－２号 |
| 所管官庁 | 奈良市総務部法務ガバナンス課、奈良市福祉部（福祉政策課、保護第一・第二課、介護福祉課、長寿福祉課、福祉医療課）  奈良市子ども未来部（保育総務課、保育所・幼稚園課、子育て育成課、子育て相談課）、奈良市保健所 |
| 定款の目的 | この社会福祉法人（以下「法人」という。）は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又はその有する能力に応じ自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、秋篠茜会の理念のもとに次の社会福祉事業を行う。 |
| 定款に定める事業内容 | 社会福祉事業  第一種社会福祉事業  （イ）特別養護老人ホームこがねの里の設置経営  第二種社会福祉事業  （イ）老人デイサービスセンター「こがねの里デイサービスセンター」の設置経営  （ロ）老人短期入所事業（こがねの里）  （ハ）あかね保育園の設置経営  （二）老人デイサービスセンター「介護予防サイクルハウス・あこだ」の設置経営  （ホ）小規模多機能型居宅介護「小規模多機能ホーム　あかりの家」の設置経営  （ヘ）地域子育て支援拠点事業「奈良市地域子育て支援センター「Peace」」の受託経営  公益事業  （1）居宅介護支援事業  （2）企業委託型保育サービス事業  （3）高齢者生活共同運営住宅事業 |

# Ⅱ．評議員の状況（２０２１年４月１日現在）

|  |  |
| --- | --- |
| 評議員の定員 | ７名以上１７名以下 |
| 評議員の現員 | １５名 |

# Ⅲ．理事の状況（２０２１年４月１日現在）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 理事の定員 | ６名以上１４名以内 | | | | | |
|  | 常勤 | | 非常勤 | | 合計 | |
| 理事の現員 | ６ | 人 | ７ | 人 | １３ | 人 |

# Ⅳ．監事の状況（２０２１年４月１日現在）

|  |  |
| --- | --- |
| 監事の定員 | ２名 |
| 監事の現員 | ２名 |

# Ⅴ．評議員選任・解任委員会の状況（２０２１年４月１日現在）

|  |  |
| --- | --- |
| 委員の定数 | ３名 |
| 委員の現員 | ３名（外部委員１名、監事１名、事務局員１名） |

# Ⅵ．役員並びに評議員等の報酬総額

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 支給人数 | 報酬等の総額 | 適　　用 |
| 評議員 | １１人 | ５８千円 |  |
| 理事 | １０人 | ３２，８９０千円 | 但し、職員給与支払額含む |
| 監事 | ２人 | ４８千円 |  |
| 報酬等総額 | ２３人 | ３２，９９７千円 |  |

※報酬等の総額は端数処理により各区分の合計と一致しない。

# Ⅶ．運営組織（組織図）（２０２１年４月１日現在）

# Ⅷ．職員の状況

## １．職員の配置状況（２０２１年４月１日現在）

| 拠点・サービス区分 | | | 正規職員 | 非正規職員 | 常勤換算数 | 平均年齢 | 平均勤続年 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| こがねの里 | | 法人本部 | ２人  (±0) | ０人  (±0) | ２．０名  (±0) | 61.2歳  - | １５．２年  - |
| 特養・ショートステイ | ４４人  (＋5) | ３０人  (±0) | ６２．８名  (＋3.1) | 47.0歳  - | ７．６年  - |
| 地域密着通所 | ３人  (±0) | １０人  (±0) | ９．７名  (＋0.2) | 53.4歳  - | ６．３年  - |
| あこだ | | デイサービス | ２人  (▲1) | １２人  （▲4) | ９．２名  (▲3.4) | 59.2歳  - | ５．８年  - |
| 居宅介護支援 | ３人  （±0） | １人  （±0） | ３．８名  (±0) | 52.5歳  - | １３．１年  - |
| あやめの里 | ０人  （±0） | ２人  （±0） | ０．２名  （±0） | 55.5歳  - | ２．０年  - |
| 小規模多機能 | | | ３人  (±1) | １３人  （▲2) | １０．１名  （＋0.6) | 57.8歳  - | ５．８年  - |
| あかね | 保育所 | | １７人  （▲1） | ２０人  (±０) | ３４．９名  (▲0.7) | 49.7歳  - | ７．７年  - |
| 子育て支援 | | ０人  （±0） | ６人  （±0） | ２．９名  (▲0.5) | 44.7歳 | ５．０年 |
| 企業委託保育 | | | １人  (±0) | ２人  (±0) | ３．０名  (±0) | 38.7歳  - | ５．２年  - |
| 合計又は平均 | | | ７５人  (＋4) | ９５人  (▲6) | 139.7名  (▲0.5) | 49.1歳  - | ６．７年  - |

　※派遣職員は非正規職員に含む。下段括弧内は２０２０年４月１日時点からの増減である。

　※端数処理により各部門内訳の計又は平均と合計又は平均が一致しない場合がある。

## ２．職員配置計画の到達状況

２０２０年度事業計画の職員配置状況は、正規職員・平均計画数７４．８名に対して７２．４名（▲２．４名）、非正規職員の平均計画数１０６．０名に足して９８．３名（▲７．８名）となりました。大多数は介護職の計画未達成(▲７．５名)によるものです。

２０２０年度の実労働時間を基準にした常勤換算数は１２６．０名（１３９．５名に対して９０．０％）で、計画差の約９０％は介護職、保育士の２職種で、配置到達率は、介護職８７．８％、保育士８６．８％の状況となっています。

## ３．職員採用・雇用管理等の状況



職員採用数（直接雇用）は２１名（正規１０名、非正規１１名）、採用率は１２．３％でした。採用人数は前年度に対し１名減となりましたが採用率は０．５ポイント改善しています。２０２０年１０月から採用ホームページを新規で開設など行い、インターネットを中心に露出機会の向上に努めました。

離職者数は１８名（正規職員７名、非正規職員１１名）、離職率１０．６％となりました。このうち１年未満は約２割、２年未満では約半数を占めており定着に向けた取組みが引き続き求められています。

年次有給休暇の平均付与日数１４．２日（前年１３．３日）に対し、平均取得日数１２．１日（前年１０．０日）で取得率８５．２％（前年７５．２％）でした。年次有給休暇取得義務化の浸透や新型コロナウイルス感染症の拡大などに伴う取得機会増加の影響が考えられます。２０２０年６月１日現在の障がい者雇用の実雇用率は４．４６％でした。

# Ⅸ．許認可に関する事項（定款変更および指定変更）

| 区分 | 許認可年月日 | 指令書番号 | 主な内容 |
| --- | --- | --- | --- |
| 指定更新 | 2021年4月1日 | 奈良市指令福福政第７５号 | 介護予防通所介護相当サービス（あこだ） |
| 指定更新 | 2021年4月1日 | 奈良市指令福介福第８号 | 通所介護（あこだ） |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 異動区分 | 異動年月日 | 事業区分 | 異動項目 |
| 終了 | 2021年3月31日 | 短期入所生活介護 | 看護体制加算Ⅳイ |
| 異動 | 2021年4月1日 | 短期入所生活介護(予防)  地域密着型通所介護 | サービス提供体制強化加算Ⅱ→Ⅰ |
| 開始 | 2021年4月1日 | 介護老人福祉施設、地域密着型通所介護、小規模多機能居宅介護 | 科学的介護推進体制加算 |
| 開始 | 2021年4月1日 | 介護老人福祉施設 | 褥瘡マネジメント加算、排泄支援加算 |
| 開始 | 2021年4月1日 | 地域密着型通所介護 | 栄養アセスメント、栄養改善体制、口腔機能向上加算 |
| 開始 | 2020年4月1日 | 保育所 | チーム保育推進加算 |

# Ⅹ．業務の適正を確保するための体制等の整備と運用状況

## １．情報保存管理体制に関する事項

　　　評議員会および理事会議事録など法定文書、重要な職務執行に係る記録および文書は法令および法人諸規程の定めに従い適切な管理に努めています。

## ２．効率性確保体制に関する事項

評議員会は、２０１９年度会計にかかる定時評議員会は感染症拡大防止抑止のため、決議事項は決議の省略手続きによる決議としました。２０２０年度臨時評議員会では集合開催し、定款の一部変更議案などを決議しました。

理事会は緊急融資等議案を４月に決議省略で決議となったほか、２０１９年度事業報告、決算報告も同様の手続きによる決議となりました。１１月の理事会では上半期の事業報告や、感染症対応などを中心に各事業所での取組み状況を報告し、労働法制などに対応した諸規程の制定や改正を確認しました。

２０２１年３月の理事会では２０２１年６月に任期満了を迎える役員・評議員について理事会として候補者の推薦について協議を行いました。

　　　常勤役員・管理者会議は毎月2回を基本に開催し理事長並びに常務理事専決事項を中心に協議を行いましたが、通年、これまでにない活動環境下で重要な課題も多く、法人および各拠点の日常業務の運営状況や施策について連携の強化に努めました。

　　　拠点ごとには職場会議、運営会議等により日常業務の意思決定がなされていますが、保育事業管理会議や高齢者事業管理会議などを通じて、横断的な課題となった感染症対策に関する情報共有や情報交換には多くの時間を要しました。

　　　通所事業検討会議は事業計画に沿って開催しました。地域・利用者への情報発信を目的とした季刊誌は１０月の第３号発行にとどまり、掲載内容などについてさらなる工夫が必要になってきています。

８月からは構成員を補強し、パンデミック下での通所サービスの運営・継続について重要な課題について検討・協議が行われました。Ｏｎｌｉｎｅ会議の環境整備がそれぞれの事業所で整ったことから１月からはＯｎｌｉｎｅ開催を基本にし、開催のための知識・技術習得に努めました。

## ３．法令遵守体制に関する事項

法令遵守意識の徹底を図るため定期的に教育を実施しています。年２回の新入職員研修・教育では個人情報保護やプライバシー保護に関する事項を継続して研修・教育として実施しています。

年代別研修や各事業所においては、職員の行動規範となる「職員教科書」を学習・研修にとりいれ周知徹底を図っています。

## ４．雇用管理、育成・教育体制に関する事項

労働施策総合推進法、男女雇用機会均等法及び育児・介護休業法の施行又は一部改正に伴い、必要な諸規程の整備等を行いました。また「奈良県社員・シャイン職場づくり推進企業」登録更新（２０２１年２月１５日付）を行いました。

法人に設置する教育研修委員会や各事業所に設置する機能別・分野別委員会で研修計画を策定し実施ました。研修開催日程は、当初計画どおりに実施できず日程や内容の変更を余儀なくされた他、専門性・技術向上に向けた実地の外部研修の機会確保が課題となる一方、講義形式の研修はＯｎｌｉｎｅやＯｎｌｉｅ教材の活用機会が飛躍的に増え、伝達研修などで活用することができました。

# Ⅺ．２０２０年度事業の状況

## １．事業の経過と概況

### （１）高齢者事業分野

#### ➀高齢者事業総数

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | 第１四半期 | 第２四半期 | 第３四半期 | 第４四半期 | 合計(平均) |
| 件　数※1 | 件 | 1,323 | 1,396 | 1,379 | 1,396 | 5,494件 |
| 前年比 | ％ | 88.2％ | 89.9％ | 88.6％ | 98.8％ | 91.2％ |
| 延　数※2 | 回 | 1,3287 | 14,081 | 13,540 | 13,150 | 54,058回 |
| 前年比 | ％ | 86.6％ | 90.3％ | 88.9％ | 93.8％ | 89.8％ |

※１　件数に含む事業…高齢者全事業（特養ホーム、短期入所、通所サービス２事業、居宅介護支援事業、小規模多機能型居宅介護、高齢者住宅事業）

※２　延数に含む事業…特養ホーム、短期入所、通所サービス２事業、小規模多機能型居宅介護

高齢者事業全体の利用者実件数は５，４９４件で前年比９１．２％でした。実件数が多かった通所介護サービスでの利用者実件数減で８割を占めたほか、特養ホーム、短期入所でも上半期まで件数減の状況が続いたことが影響しました。その一方、居宅介護支援事業所は、利用実件数を通年進展させたほか、地域密着型通所サービスも８月以降は堅実に利用者実件数を進展させました。

延数は５４，０５８回で、実件数の減少に伴い前年比８９．９％となりました。事業規模から特養ホームの延回数減が影響、全体の４６．９％を占める結果となりました。特養ホームの新規受け入れは前年比でも健闘しましたが、年度当初で低下した稼働率を改善するには至りませんでした。

ショートステイ（短期入所）は下半期から対前年比を改善させたものの年度単位では対前年比９２％、通所介護サービスは前年比約７２％にとどまる一方、地域密着型通所サービスは利用者実件数の増加に呼応し、延回数の前年比１０８．８％、利用目標も１０５．４％と超過達成しました。

#### ➁サービス種別の利用動態

|  |  |  | 第１四半期 | 第２四半期 | 第３四半期 | 第４四半期 | 合計(平均) |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 特養・短期 | 件　数 | 件 | 378件 | 398件 | 401件 | 401件 | 1,578件 |
| 前年比 | ％ | 85.1 | 90.0 | 93.0 | 100.5 | 92.0％ |
| 延　数 | 日 | 8,340日 | 8,646日 | 8,435日 | 8,049日 | 33,470日 |
| 目標達成率 | ％ | 90.8 | 93.1 | 90.9 | 88.6 | 90.9％ |
| 前年比 | ％ | 90.6 | 92.7 | 90.3 | 93.0 | 91.6％ |
| 通所サービス | 件　数 | 件 | 520件 | 558件 | 531件 | 512件 | 2,121件 |
| 前年比 | ％ | 76.8 | 82.9 | 78.9 | 86.6 | 81.1％ |
| 延　数 | 回 | 3,024回 | 3,404回 | 3,098回 | 2,970回 | 12,496回 |
| 目標達成率 | ％ | 76.1 | 83.5 | 78.2 | 76.5 | 78.6％ |
| 前年比 | ％ | 76.5 | 86.4 | 82.3 | 93.2 | 84.2％ |
| 居宅介護 | 件　数 | 件 | 362件 | 375件 | 381件 | 412件 | 1,530件 |
| 目標達成率 | ％ | 93.1 | 92.1 | 90.7 | 96.3 | 93.1％ |
| 前年比 | ％ | 116.8 | 101.9 | 98.2 | 114.1 | 107.3％ |
| 小規模多機能 | 件　数 | 件 | 37件 | 38件 | 39件 | 41件 | 155件 |
| 目標達成率 | ％ | 94.9 | 90.5 | 90.7 | 91.1 | 91.7％ |
| 前年比 | ％ | 88.1 | 88.4 | 102.6 | 105.1 | 95.7％ |
| 高齢住宅 | 件　数 | 件 | 26件 | 27件 | 27件 | 30件 | 110件 |
| 目標達成率 | ％ | 100 | 100 | 90.0 | 100 | 97.3％ |
| 前年比 | ％ | 96.3 | 100 | 100 | 125 | 104.8％ |

### （２）保育事業分野

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | 第１四半期 | 第２四半期 | 第３四半期 | 第４四半期 | 合計(平均) |
| 件　数※3 | 件 | 355件 | 439件 | 446件 | 453件 | 1,693件 |
| 目標達成※4 | ％ | 82.1 | 97.9 | 100.5 | 101.0 | 95.5％ |
| 前年比 | ％ | 84.1 | 98.0 | 97.4 | 97.6 | 94.5％ |
| 延　数※5 | 回 | 5,839回 | 9,723回 | 10,312回 | 10,083回 | 35,957回 |
| 前年比 | ％ | 60.4 | 95.0 | 100.2 | 109.2 | 92.4％ |

※３　件数…保育所、企業委託保育件数の合計

※４　件数の予算比…保育所の件数の予算比

※５　延数…保育所、企業委託保育、子育て支援拠点事業の延回数合計（前年比も同様）

保育事業分野では保育所・企業委託保育の年間利用件数１，６９３件で前年比９４．５％、保育所の登録目標の到達も９５．５％となり、第１四半期の緊急事態宣言が大きく反映しました。

延数も同様に第１四半期の宣言による他、奈良市地域子育て支援センターでは、感染ステージの変更に伴い、休業や利用人数の抑制的な運営に変更して開所した影響です。

## ２．設備投資の状況

２０２０年度における新規の設備投資は総額５，８８４千円（固定資産取得）で拠点別の主な設備投資内容は以下のとおりです。こがねの里では今年度の事業計画で位置づけた大規模な設備更新については次年度以降に計画を繰り延べたほか、ＩＣＴなどを中心に、新型コロナウイルス感染対策に関連した設備投資が行われました。

### (１)特別養護老人ホームこがねの里拠点

３，６１５千円（介護記録用ソフトウェア、ベッドマットレス更新、タブレット・パソコン、スライディングボード、扇風機）

### (２)介護予防サイクルハウス・あこだ拠点

５３９千円（タブレット、パソコン、テーブル・椅子）

### (３)小規模多機能ホームあかりの家拠点

３４１千円（ルームエアコン×２）

### (４)あかね保育園拠点

１，３８８千円（食器保管庫入替、和太鼓、テーブル、ルームパーテーション、避難車）

## ３．評議員会、理事会に関する事項

| 開催回数  開催内容 | 開催又は決議の年月日 | 出席者数 | | | 主な決議・承認事項 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 評議員 | 理事 | 監事 |
| 第11期理事会  （みなし決議） | 2020.4.30 | － | － | － | 【決議・承認事項】  ➀金銭消費貸借契約の締結（福祉医療機構） |
| 第11期理事会  （みなし決議） | 2020.5.30 | － | － | － | 【決議・承認事項】  ➀2019年度事業報告の承認  ➁2019年度計算書類および財産目録の承認  ③定時評議員会の目的事項の決定  ④2019年度事業に係る監事監査報告 |
| 第10期評議員会  （みなし決議） | 2020.6.25 | － | － | － | 【決議・承認事項】  ➀2019年度計算書類および財産目録の承認 |
| 第11期第２回  理事会 | 2020.11.20 | － | １０ | ２ | 【決議・承認事項】  ➀定款細則別表１の人事起案  ➁通所介護事業指定更新  ③有料老人ホームの設置届出  ④就労奨励一時金運用規程の制定  ⑤ハラスメント防止規程一部改正  ⑥ソフトウェア購入（介護記録）  ⑦一時金の支給に関する件 |
| 第11期第3回  理事会 | 2021.3.19 | － | １０ | ２ | 【決議・承認事項】  ➀入居利用契約の一部改正  ➁定款の一部変更  ③経理規程の一部改正  ④諸規程等の一部改正  ⑤一時金の支給に関する件  ⑥定款細則別表１の人事起案  ⑦2021年度事業計画の承認  ⑧2021年度資金収支予算の承認  ⑨2021年度の理事および監事報酬総額  ⑩第12期理事・監事候補者推薦  ⑪第11期評議員候補者推薦  ⑫2020年度臨時評議員会の目的事項の決定 |
| 第10期  2020年度  臨時評議員会 | 2021.3.28 | １１ | ６ | ２ | 【決議・承認事項】  ➀2021年度の理事の報酬総額の決定  ➁2021年度の監事の報酬総額の決定  ③定款の一部変更 |

## ４．評議員選任・解任委員会に関する事項

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 開催回数  開催内容 | 開催年月日 | 出席者数 | | 主な報告事項および決議事項 |
| 委員 | 理事 |
| 開催なし |  |  |  |  |

## ５．２０１９年会計年度分の監事監査の状況

◇　監査日時　　２０２０年５月１５日

◇　監査人　　　城　孝至、百上　宜明

◇　改善事項　　なし

## ６．会計に関する専門家の活用状況

### (１)２０１９年会計年度の決算調査

◇　監査日時　　２０２０年５月１２日（Online）

◇　監査人　　　公認会計士　田中　淑寛（協働公認会計士共同事務所）

### (２)２０１９会計年度の決算残高点検

◇　監査日時　　２０２０年８月１１日

◇　監査人　　　公認会計士　田中　淑寛（協働公認会計士共同事務所）

◇　助言事項　　土地権利金の会計処理上の留意事項、緊急包括支援補助金等

### (３)２０２０年会計年度の上半期決算調査

◇　監査日時　　２０２０年１１月２７日

◇　監査人　　　公認会計士　田中　淑寛（協働公認会計士共同事務所）

## ７．所轄庁からの報告徴収・検査等への対応状況

| 内容 | 日時 | 対象 | 要改善指摘事項 | 対応状況 |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 令和２年度社会福祉施設に対する指導監査 | 書面 | 特別養護老人ホームこがねの里 | なし | － |
| 令和２年度社会福祉施設に対する指導監査 | 書面 | あかね保育園 | なし | － |
| 令和２年度介護保険施設等の集団指導 | 書面 | 介護保険全事業所 | － | － |

## ８．業務の適正、サービスの確保のための教育・研修実施状況

| 研修内容 | 開催年月日 | 参加数 | 備　　　考 |
| --- | --- | --- | --- |
| 新入職員研修（春季） | 2020/4/1 | ９名 | 理念歴史学習、リスクマネジメント、施設見学 |
| 新任職責者研修 | 2020/4/15 | ２名 | 職責者に求められるもの、事業計画・予算・組織運営 |
| 新入職員研修（秋季） | 2020/10/1 | ６名 | 理念歴史学習、リスクマネジメント、施設見学 |
| 職責者研修(第１回) | 2020/11/17 | ２３名 | 学習講演「新型コロナウイルス感染症対策」  講師 高木匡代保健師、今村望看護師長（平和会・吉田病院） |
| 三年目職員研修 | 2020/12/4 | １５名 | 法人理念・方針講義、接遇・マナー、グループワーク、職員教科書 |
| 五年目職員研修 | 2021/1/22 | １４名 | 法人理念・方針講義、接遇・マナー、グループワーク（職員教科書、コーチングとリーダーシップ等） |
| 職責者研修(第２回) | 2021/2/14 | ２３名 | 2021年度事業計画・予算編成の検討  グループワーク「コロナ禍での事業活動の課題・意識的な取組み」「いのちと暮らしを守る実践」「職員ヘルスケア・やりがいや役割」 |
| 新任職員研修 | 2021/3/10 | １名 | 職責者に求められるもの、事業計画・予算・組織運営 |
| 全職員研修会議 | 中止 | － | － |
| 職責者研修(第３回) | 2021/3/16 | ２３名 | 2021年度事業計画素案、2021年度収支予算素案 |
| 学術運動交流集会 | 中止 | － | － |

## ９．苦情・相談内容、件数

苦情・相談件数は３８件（前年３１件）でした。申出の多くはご本人またはご家族等を通じた申出が全体の７６％（前年７４％）を占めています。苦情相談内容では、コミュニケーションなどの機会が減ったことを反映してか、説明・情報提供１３件（前年６件）に関する内容がもっとも多い結果となりました。ついで職員の接遇９件（前年１０件）、サービス内容が６件（前年１１件）と続きました。

| 事業所 | 申　出　者 | | | | | 申　出　・　苦　情　の　内　容 | | | | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 本人 | 保護者・家族 | 事業者等 | 地域住民 | 投書 | サービス内容 | 職員の接遇 | 利用料 | 説明・情報提供 | 施設管理 | 被害・損害 | 権利侵害 | その他 |
| こがねの里 | ４ | １９ | ６ | １ | １ | ６ | ９ | １ | ９ |  | ４ | １ | １ |
| あかね保育園 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| サイクルハウス | ２ | ２ |  | １ |  |  |  |  | ４ |  |  |  | １ |
| あかりの家 |  | ２ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ２ |
| 計 | ６ | 23 | ６ | ２ | １ | ６ | ９ | １ | 13 |  | ４ | １ | ４ |

## 10．第三者評価、運営推進会議等の開催状況

### （１）運営推進会議開催状況

| 内容 | | 開催日時 | 出席者数 | | 議題、意見、要望 | 措置状況 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 外部 | 事業 |
| 小規模多機能(あかりの家) | 運営推進会議 | 2020/7/22 | ４ | ３ | 外部評価内容の確認  活動状況評価  防災訓練 | みまもりプロジェクトの紹介 |
| 小規模多機能(あかりの家) | 運営推進会議 | 2020/9/16 | ４ | ３ | 相談・見学など評価  活動状況評価 | 熱中症対策への評価 |
| 小規模多機能(あかりの家) | 運営推進会議 | 2020/11/18 | ４ | ３ | 活動状況評価  感染対策への強化 | 柔軟なサービス組合せによる評価 |
| 小規模多機能(あかりの家) | 運営推進会議 | 2021/1/20 | ３ | ３ | 活動状況評価  認知症フォーラム参加  コロナ禍での行事企画 | 認知症フォーラム  防災の訓練地域参加 |
| 小規模多機能(あかりの家) | 運営推進会議 | 2021/3/17 | ５ | ３ | 外部評価(事業所、個人評価)  福祉農園など地域連携 | 継続的な改善計画の推進  見守り模擬訓練 |
| 地域密着型デイ(こがね) | 運営推進会議 | 中止 | ― | ― | ― | ― |

## 11．社会福祉充実残額および社会福祉充実計画の策定状況

２０２０年会計年度における社会福祉充実残額に残高が生じないことにより、社会福祉充実計画は策定していない。

①活用可能な財産　　　　　　　　　　　　　　７１４，２０７千円

②社会福祉事業等活用している不動産等　　　　２９４，５３７千円

③再取得必要財産　　　　　　　　 　　　　　 ５７０，１００千円

④必要な運転資金（事業活動支出３ヶ月分）　　１９９，７４３千円

⑤計算の特例（年間事業活動支出）**a**　　　　　 ７９８，９７３千円

**a**当法人においては③（再取得必要財産）＋④必要な運転資金が、年間事業活動支出（＝⑤）より過少なため計算特例適用による。

⑥計算の特例適用による社会福祉充実残額＝➀－（➁＋⑤）＝▲３７９，３００千円

## 12．社会福祉事業の実施状況

### （１）特別養護老人ホーム

２０２０年度入所者数は３７名（在宅入所相互利用者２名、優先入所３名、一般入所３２名）、退所者４０名でした。

入所申込者数４４７名（年度末時点）、年間申込者数１０４名とニーズは変わらず高いですが、体制悪化による入所受け入れの制限から、そのニーズに応える事ができていません。また、月平均３名以上の退所が続き、前年度を上回るペースで入所受入を行いましたが、年間日平均７４．８名と目標から大きくかい離する結果となりました。入院延数は月平均２４４．８日（前年▲７１．１日）ですが、運用空室が月平均３３１．６日（前年＋２７４．９日）と大幅に増加しています。

新型コロナウイルス感染症は、利用者の健康管理、家族の面会、余暇活動等に大きな影響を及ぼしました。とりわけ家族との面会においては、社会状況によって方法を変更する事で対応しました。短時間の直接面会を行った時期もありましたが、１１月からは全面的にオンライン面会のみとなり、家族からは理解を示しつつも長期間会えなくなる事の不安の声が多く聞かれています。本人の状態に応じて、直接面会の機会確保も行いましたが、入所検討にあたり、直接会えなくなる事への不安から入所を断られるケースも複数ありました。

　　　余暇活動においても、行事の内容をできるだけ感染対策を行える条件を第一として企画し、これまでのような大人数での行事開催は行いませんでした。敬老会や秋祭り等、家族や地域との交流の機会は殆どなくなりました。今後も同様の状況が継続する事が予測できる中、日常写真のお便り掲載や面会時にこまめな報告、感染対策をとった上での野外での対面等、これまでの知識や経験を活かして取り組んでいく事が必要です。

　　　利用者自身、家族との面会機会がなくなり、身体機能や認知機能の低下に拍車がかかったケースもあります。入所時点で認知症や身体機能低下が進行している事が多く、機能訓練の機会が減少する一方、日常的な生活動作や余暇活動の中に機能訓練の視点を取り入れて支援する重要性を確認する事ができました。ただ、一部の職員の課題意識に留まっている傾向があり、今後の課題です。

　　　健康管理において、毎日の検温を実施し、特変や熱発時の基本的な対応を定めて実施しました。医療機関においても感染状況によって、外来受診に至るまでに時間を要する事が増え、診療時間外での受診が難しい状況も生まれています。そういった状況において、予防的観点をもった支援の重要性が増しています。ただ、健康管理を担う医療職の安定的な確保には課題を残しています。

　　　感染対策と同時に職種を超えた情報共有の効率化のため、介護看護記録の電子化を行いました。一部、紙媒体での記録は残していますが、ほぼ全ての記録を電子化する事で、これまで共有できなかった情報を共有でき、正確性を増す事ができました。

　　　介護員の腰痛予防を第一目的とし、直接身体を抱えない事で介護事故も防ぐためにもノーリフトケアに取り組みました。内部研修も繰り返していますが、技術獲得と実践に結び付けられるよう継続した取り組みが必要です。

### （２）こがねの里ショートステイ

新規利用者は４６名(上半期１９名、下半期２７名)で、ほぼ前年度と同程度でしたが、１日平均利用者数は１６．９名(前年差▲１．４名)と減少しています。冬季に比較的利用期間が長い利用者が利用予定期間前で相次いで退所され、利用期間の長い利用者の新規受入れも一定数行いましたが、急きょ発生した空き状況を克服するまでには至らず、そのことが影響し、利用目標、予算目標共に未達となりました。

緊急利用の希望は、年間通して１２件とほぼ毎月１件以上の依頼があり、積極的に受け入れました。緊急利用の理由として、入院後に自宅での生活が出来なくなったケースや老々介護で同居する介護者が体調不良で入院して在宅生活が困難になったケース等でした。

長期利用を希望される利用者の利用日数は低下する一方、定期利用を希望される利用者ニーズは高い為、積極的に受け入れました。その結果、１名当たりの平均利用日数は減少しました（入所退所に関する施設送迎発生率が９１％で前年差＋４％と増加）。

複数名での送迎も増加していますので、業務内容の見直し等が必要となっています。

医療的なケアが必要な利用者の利用ニーズも多く、特定医療行為が必要な利用者や、末期癌の利用者の受け入れも医療職と協力しながら行いました。胃瘻や吸引、インシュリン投与といった医療ケアの必要な利用者の受け入れについては、特定行為研修修了者の安定した配置が難しく、看護員による対応と並行して行いました。

末期癌の利用者については、施設医療職以外にもかかりつけ医と連携を密にする事により、受け入れる事ができました。在宅で最後を迎えたいというニーズは高い為、関係機関と密に協力し柔軟に受け入れる事が望まれています。

コロナ禍ではあり余暇活動は十分ではありませんでしたが、特養と合同で調理レクや外出等行う事ができました。オンライン面会の取り組みも行い、ショートステイ利用中にオンライン面会される事もあり好評でした。

### （３）こがねの里デイサービスセンター

２０２０年度の新規利用者は３３名（前年比▲３名）でした。下半期からの新規利用者が多く、認知症が中重度でありつつも身体機能の高い利用者の利用が大半を占める特徴は継続されました。これまでつながりのなかった居宅介護支援事業所からの新規利用も多く、これまでの支援の積み重ねが評価につながったと受け止めています。家族全体への支援が必要な方も多く、介護者である家族も疲労しており、その気持ちに寄り添い、必要と思われる情報を提供する等のサポートをしました。

　　　サービス内容として、少人数でのクラブ活動や利用者担当制等の前年度から行ってきたことを踏襲しつつ、他事業所研修で学んだ事を受け、これまでの日課を大きく変えた事で、利用者間の円滑な関係構築の支援につながり、全体の雰囲気を活性化する事ができました。

業務運営では、新型コロナウイルス感染症予防を第一としました。職員だけでなく、利用者も家族を含めた体調管理やマスクの着用の依頼等、居宅介護支援事業者と家族、本人が協力し合って対策にあたりました。日々の不安を話される事も多くありましたが、喫茶室での歓談やレクリエーション等、できるだけ今までと変わりない日常を提供する事で安心感を得てもらうようにしました。

支援内容を振り返り、意見交換する中での気づきや問題の解決方法を次の支援につなげていくため、利用が終了してからの振り返りカンファレンスを初めて行いました。情報収集・個別対応を実践し、認知症ケアを職員個人のスキルに留める事なくチーム力として発揮できたものの、全体の情報共有に課題を残しています。

人員基準の臨時的取り扱いに基づき、７月より二段階上のサービス費算定を行いました。不同意のケースが１件、支給限度額超過から算定を見合わせるケースもありましたが、理解を得られる事が多く、予算達成に大きく影響しました。

通所サービス検討会議は１２回開催、利用者動向や地域ニーズを踏まえた可能性を検討し、経営と法人内外での役割について再認識する機会となり、地域への情報発信として季刊誌を１回発行、１１月に通所介護合同職員会議を行い、それぞれの事業内容について共有しました。

### （４）介護予防サイクルハウス・あこだ

年度当初から新型コロナウイルス感染拡大による利用自粛が増加し、７月から２月までの期間午前１単位の一部の営業を休止し午後を中心とした営業に変更しました。営業単位数の縮小に伴う影響は大きく、利用者・家族、担当ケアマネジャーなどとの対応に苦慮しましたが、変更に伴う影響をできる限り低減するための説明方法やタイミングなどは教訓になりました。

並行して通所事業検討会議にて事業運営や形態について見直し、これまでの経営課題を含め検討を重ねました。１１月にこがねの里デイサービスの職員とあこだの職員合同での検討の機会を設け、午前にマシンサービス、午後にプールサービスとサービスを区分けして提供することを確認しました。

「リハビリを中断すると歩けなくなる」とコロナ禍にあってもほとんどお休みされることなく通所された利用者もおられたことから、事業継続の必要性や役割を再確認することができました。

### （５）小規模多機能ホームあかりの家

#### ア．概括

４月より体制強化をはかり、管理者、主任、ケアマネジャーでの月１回の運営会議の開催と月１回の職員会議を開催し、利用希望や地域での困難事例の相談や受け入れが可能となるように努力してきました。利用者１５名(そのうち要介護３以上を８名以上) 到達を目指しましたが、有料老人ホームへの入所や入院、死去の為3名の方の利用が停止となり、目標には到達しませんでした。

サービス活動収益、経常増減差額は前年度および予算を下回わりましたが、新型コロナウイルスの対策や新規困難事例の受け入れ、利用者の認知症の進行や加齢に伴う重介護化のもと、全職員一丸となって奮闘してきました。そのもと地域でいのちにも危険のある事例への取り組みは困難を伴い職員の負担も大きいですが地域の信頼を高め経営も改善方向となっています。

連泊利用は３床を基本にベッド活用し、宿泊について全体の利用者の要求に応えるようにもしてきました。現在２床の連泊活用となり宿泊受け入れが改善されています。

今年度の大きな特徴として、長期に渡り利用されていた方の死去がありました。ご本人だけでなく、ご家族様もあかりの家で最期を迎えたいと希望され、入院時から看取り介護を視野に入れたサービス担当者会議の開催や医療・介護の連携にも努力し、利用者・家族を共同で支援しました。

他施設他事業所で利用困難な方や閉じこもり気味の方の受け入れ、重度の認知症の方の独居、家族にひきこもり等の病気のある方などの複合的な困難があったり、利用者の高齢化や認知症の進行に伴い、今後の在宅生活に不安が見られる方もおられ、利用者数では不安定な状況もひきつづきあります。

#### イ．２０２０年度強化点の取り組み

##### （ア）職員体制と管理体制の改善及び利用者確保の取り組み

２０１９年度は職員体制が厳しく登録利用者の数を制限しなければいけない状況でしたが、４月に管理体制を強化し、８月以降に新規利用者の受け入れを再開しました。伏見地域包括支援センターから紹介の認知症独居の方2名と、吉田病院精神科から紹介の1名の計3名の新規利用者を受け入れました。施設見学や体験利用も対応しましたが、どう利用につなげていくか継続した課題です。

##### （イ）介護の充実と管理運営の改善

介護の充実の面については、民医連の綱領や法人理念・福祉宣言を基に職員の意思統一、働きやすい職場作りを目指してきました。新型コロナウイルスの影響もあり、外部の研修や学習会に参加する機会が確保できませんでしたが、法人内の研修で職員のスキルアップに努めました。また利用者の個別性を重視して生活リハビリや外出を積極的に行い、豊かな生活の実現に努めました。

リハビリについては、専門職の退職はありましたが、指導とアドバイスの引継ぎを受け積極的に取り組みました。個別のリハビリだけでなく、食事前の口腔リハビリなど医療職と連携も重視し実施しました。看護職員の日勤帯配置を行うことで、利用者、家族、介護職ともに安心して過ごせる環境作りにも努めました。

認知症ケアについて「否定・強制・断定・批判・しかる・上から目線の教える」対応でなく受容・共感で寄り添い穏やかに良い感情を残す対応を心がけました。ひきつづき軽作業をともにするケアや音楽療法、回想法、レクレーションや作業などで周辺症状の軽減緩和に努めました。

利用者さんとのコミュニケーションや見守りを大切に「～したい」の実現や人間尊重の寄り添う介護に努めました。利用者さんへの対応では「説得より納得を」大切に、家庭的な雰囲気のなかで「やさしい介護」を追求しました。認知症や介護について専門性と科学性でとらえ、受容共感し、愛情を持って人間の尊厳を大切に深く理解することを心掛けました。

職員同士も尊重し合い、理解し合い、「いいとこさがし」とほめあいで、成長しあえる、職員にとってもいい職場になるよう、コミュニケーション、報告・連絡・相談（ホウレンソウ）、「わかっているつもり」を改善し、丁寧に説明し合うように取り組みましたが、会議に参加できない職員への周知が不十分など課題も見受けられました。

また、利用者や職員への感情的な物言いや態度は全体の雰囲気や認知症の周辺症状を悪化させてしまうことを念頭に置き、専門職として感情のコントロールに努めました。

運営推進会議を活用しての外部評価等を活かし、改善策を実施し、介護の質の改善と事業整備、法的整備も進めました。介護サービス情報の公表も改善に活かし、感染症対策やリスク管理、年２回の避難訓練も実施しました。

#### 2020年度　事業計画・予算（利用登録数・実人数）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月日 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 2019実績 | 14名 | 14名 | 14名 | 14名 | 15名 | 14名 | 12名 | 13名 | 13名 | 13名 | 13名 | 13名 |
| 2020予算 | 13名 | 13名 | 13名 | 14名 | 14名 | 14名 | 14名 | 14名 | 15名 | 15名 | 15名 | 15名 |
| 2020実績 | 13名 | 12名 | 12名 | 12名 | 13名 | 13名 | 13名 | 13名 | 13名 | 14名 | 14名 | 13名 |

### （６）あかね保育園（保育所）

４月当初より職員体制を充足したものの、０歳児の入園希望が少なく、７月までは当初計画を大きく下回る状況が続きました。近隣施設で入所可能な保育園も増加したことに加え、育児休業の取得状況の変化や、また新型コロナウイルス感染症の感染拡大も要因の一つと考えられます。そのような中、施設見学者へのアプローチや支援センターの協力で、８月には１３９名と目標に近づくことができました。

今年度も新入園児の保護者向け離乳食講座や健康管理等の講義を取り入れるとともに、丁寧な声掛け等に心がけ、保護者が安心して子育てし働き続けられる環境に努めました。

５月には緊急事態宣言が発出され、特別保育となり約６割のご家庭に家庭保育を協力いただきました。長期休みの家庭には、週に一度電話で様子を聞き、園便りと共に親子で楽しめる遊びや、簡単にできる給食・おやつのレシピ等を郵送で送り参考にしていただきました。特別保育期間中職員は、環境整備を行い、交替で在宅勤務とし、課題図書やDVD視聴等研修を行い学びの機会となりました。

保護者や地域の方々との交流の機会を持つことが出来きる秋篠こどもまつりを開催できなかったことは非常に残念でした。そのような中「出来ない」と諦めるのではなく、どうしたら出来るかを考え、子ども達と保育者で『おまつりごっこ』を楽しみ、5歳児は運動会参観日を設け、跳び箱、鉄棒、竹登り等に挑戦し頑張る姿を保護者に見ていただくことが出来ました。

予定していたクラス懇談会は、個人懇談形式にかえて機会を設け、園児の理解と成長に繋げることができました。プールあそびも中止となりましたが、水遊びや感触遊び等の機会を多く持つことができました。今年度も子ども発達センターの協力を得て巡回訪問に来ていただき、子ども達が安心して自信を持って園生活を送ることが出来るように支援の方法を学び、保育内容の充実と就学支援を行いました。おたのしみ会も中止となりましたが、３・４・５歳児の劇遊びをビデオで撮影し、DVDを各家庭に配り観ていただきました。卒園式は短時間の開催となりましたが、卒園証書授与の後、卒園児は歌や太鼓を披露することが出来、２４名が卒園しました。

延長保育の利用が増えたので、職員の体制を変更し合同保育の部屋を分けて感染予防に努めました。職員のスキルアップや事故防止等安全保全の向上をめざし、新入職員への安全衛生マニュアルの研修を実施しました。コロナ禍で外部の研修会機会が大幅に減少しましたが、Ｗｅｂ研修を受講し、職員会議等で報告し職員間で学習、研修に努めました。

### （７）奈良市地域子育て支援センターＰｅａｃｅ（地域子育て支援拠点事業）

#### ア．基本事業

##### （ア）子育て親子の交流の場提供

ａ．月別利用状況（2020年4月～2021年3月）



２０２０年度の４月５月は、新型コロナ感染症のためＰｅａｃｅは閉所になった。交流の場の利用者は、６，０８６人だった。１日平均人数は２５人で、昨年度より３．１人減少した。

月別では、３月の６６６人が一番多かった。６月の開所にあたり、定員１０組に制限した。１２月８日にコロナのステージがⅢになり、予約制になった。（１時間３０分３クール、７組制限）３月２日にステージⅡに下がったが予約制は続いた。

ｂ．子どもの年齢内訳

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | その他 | 合計 |  |
| 人数 | 844 | 1,258 | 860 | 307 | 51 | 3,320 |  |
| ％ | 25 | 38 | 26 | 9 | 2 | 100 |  |

子どもの年齢内訳では、１歳児が３８％で多く、続いて２歳児が２６％、０歳児が２５％、３歳児は９％、それ以上になると利用が減少していく。

ｃ．利用者の校区内・外内訳

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 平城中 | 伏見中 | 校区外 | その他 | 合計 |
| 人数 | 2,377 | 2,312 | 1,380 | 17 | 6,086 |
| ％ | 39 | 38 | 23 | 0 | 100 |
| 2019年度 | 2,427 | 3,698 | 548 | 134 | 6,807 |

校区内・外内訳では、平城中は３９％、伏見中（校区外）は３８％で、校区外は２３％で、その他（市外、県外）は０％だった。はじめて伏見中より平城中が上回った。また、校区外が昨年度より大幅に増加した。その他は、８月から県外・市外者を断わったため、１７人だった。

##### （イ）子育てに関する相談・援助の実施

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 育児方法 | 食事 | 睡眠 | 病気 | 発育 | 発達 | 教育・進路 | 家庭状況 | その他 | 合計 | 2019 |
| 件数 | 86 | 57 | 14 | 106 | 258 | 48 | 118 | 36 | 63 | 786 | 1,086 |
| ％ | 11 | 7 | 2 | 13 | 33 | 6 | 15 | 5 | 8 | 100 | 100 |

相談・援助の実施状況では、発育が３３％（月２回『健やか相談』（身体測定）を実施）と多い。続いて教育・進路１５％、病気１３％、育児方法１１％、その他８％、食事７％、発達６％、家庭状況５％となり、睡眠は２％で少ない。

##### （ウ）子育て関連情報の提供

Ｐｅａｃｅの情報は、ホームページで発信している。４月５月の閉所中は、週２回ブログで「遊びの紹介」や「年中行事」「病気のこと」等を発信した。６月からは、開所にあたっての案内を掲載、開催した講座のブログ等を掲載した。１２月１０日からは予約状況等を掲載、ステージが変化した場合も、ホームページで知らせた。

　　　他に、近隣の子育てスポットやサークルのチラシ提供、奈良市や奈良県主催等のイベントチラシを提供した。認定こども園や幼稚園、保育所の利用にあたっての相談や情報提供等も行ってきた。

##### （エ）子育て支援に関する講習

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 2020 | | 2019 | |
| 区分 | 回数 | 人数 | 回数 | 人数 |
| 講習 | 13 | 161 | 38 | 821 |
| 園庭開放 | 0 | 0 | 5 | 459 |

　講習は、「Ｐｅａｃｅの魔法」「わくわくＰｅａｃｅ」「えほん広場」「園庭開放」等を実施している。４月５月は、Ｐｅａｃｅが閉所中、６月に開所し、講習は７月から開始した。７月は「ベビーマッサージ」（５組、３０分間）を実施。８月からは２回、「パパ講座」と「ベビーマッサージ」（５組、３０分間）を実施した。９月は、「離乳食講座」と「親子ふれあい遊び」をし、１０月からは４５分間８組（野外は２０人）になり、「ミニ運動会」と「救急救命講座」を、１１月は「どんぐり拾い」と「健康講座」を実施した。１２月に「ベビーマッサージ」を実施した後、１２月８日からステージⅢになり講習は中止になった。３月はじめにステージⅡになり、講習再開、「公園遊び」「避難訓練」「離乳食講座」を実施した。

#### イ．地域支援活動

##### （ア）地域の公民館等に出向いての子育て支援活動

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 2020 | | 2019 | |
| 区分 | 回数 | 人数 | 回数 | 人数 |
| 出前講習 | 3 | 62 | 12 | 389 |

地域の公民館等に出向いて子育て支援をする活動である。新型コロナのため、４月５月は閉所。７月に母子保健課主催の「ぱくぱく教室」で手遊びや絵本読み等を提供。１１月には、子育てサークル「ばんび」や子育てスポット「ミルクハートミルク」へ出向き、遊び等を提供した。

##### （イ）地域住民や団体との連携・協働（伝統文化や行事等を実施し、親子の育ちを支援する取組）

地域住民や団体との連携・協働として、Ｐｅａｃｅ開設前から実施している「Ｐｅａｃｅ関係者会議」は、新型コロナ感染のため、５月９月は中止した。１月には、地域ごと子育て支援交流会を兼ねた「Ｐｅａｃｅ関係者会議」を開催した（１０名の委員の7名は新委員）。毎年実施しているこがねの里デイサービスとの協働事業も、今年度は実施することができなかった。

##### （ウ）子育てサークル等地域の子育て支援団体への支援

近年は、（ア）地域の公民館等に出向いての子育て支援活動と共に、子育て支援団体への支援を実施してきたが、今年度は新型コロナ感染のため、出向いていくことができなかった。他の支援センターや広場にも出向いていくことができなかった。

##### （エ）親子の育ちを支援する取組（利用したくても利用できない家庭へ訪問支援等の取組）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 2020 | 2019 |
| 支援件数 | 22 | 37 |

　利用したくても利用できない家庭に対して訪問支援等の取組はまだ実施していない。Ｐｅａｃｅに来所されている親子で、「親子の育ちを支援する取組」は、２件だった。

４月５月は閉所中、６月３件、７月８月は　各１件、９月４件、１０月３件、１１月１２月は各１件、１月２件、２月３月は各３件だった。６月の３件は、発達支援の必要な子で母子保健課と連携を取った。８月のケースは、海外から帰ってこられた親子で医療機関からの紹介を受けた。９月のケースは、以前から第１子とＰｅａｃｅに来られていた母で第２子の「こんにちは赤ちゃん訪問」に行ったケースで産後うつ傾向がありフォローしていた。その後、子育て相談課から「泣き声通告」があったと連絡が入り、経過をみている。１月のケースは、３児を育てている母から「消えてしまいたいときがある」との深刻な相談があり、フォローしている。

#### ウ．一時預かり“ひよこルーム”

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 2019 |
| 利用人数 | 0 | 0 | 14 | 18 | 10 | 21 | 14 | 12 | 15 | 10 | 19 | 27 | 160 | 128 |
| 利用時間 | 0 | 0 | 23 | 32 | 18.5 | 29.5 | 24.5 | 20 | 31.5 | 20 | 37 | 48 | 284 | 218 |

４月５月閉所していたが、利用人数１６０人、利用時間２８４時間で、昨年度より大幅に多かった。３月は、空き時間がないほど、連日利用された。利用理由は、慣らしが多いが、リフレッシュ、受診、就活、家事等だった。

#### エ．子育てコーディネーター事業（利用者支援事業）

２０１８年度から、奈良市地域子育て支援センターで始まった事業である。利用者支援（子育て家庭等から相談、情報提供等）と地域連携（地域の関係機関との連絡調整、連携・協働の体制づくり等）を行う。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 2019 |
| 開催日 | 2 | 5 | 18 | 13 | 14 | 13 | 14 | 14 | 12 | 12 | 11 | 14 | 142 | 149 |
| コーディネーター  勤務状況 | 2 | 5 | 18 | 15 | 16 | 14 | 16 | 16 | 13 | 17 | 13 | 17 | 162 | 166 |
| 相談件数 | 0 | 0 | 30 | 17 | 19 | 24 | 26 | 7 | 15 | 13 | 22 | 15 | 188 | 314 |

４月５月は新型コロナのため閉所中で相談事業はなかったが、地域連携等があったため開催日・勤務状況は実施した。発達支援、発育支援や深刻な相談ケース等を報告している。１８８件と昨年度より大幅に減少した。

#### オ．こんにちは赤ちゃん訪問事業

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 2020 | 2019 |
| 訪問件数 | 22 | 34 |

　２０１９年度より奈良市子育て相談課から受託した事業である。保健師が訪問活動を行っている。Ｐｅａｃｅの周辺に出向いて行っている。Ｐｅａｃｅに来られているケースや訪問後に来所されるケースなどがある。（２０１９年度は、保健師２人で対応）

#### カ．その他

職員会議は、毎月月初めに実施し、職員間の情報共有の場、学習の場として位置付けている。２０２０年度は、新型コロナ感染のために、職員の研修の機会が少なかったが、オンラインによる会議や研修を受ける機会があり、新しい試みでもあった。

## 13．公益事業の実施状況

### （１）居宅介護支援事業（ケアプラン作成）

年度当初は新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で新規依頼がない状況が継続、５月の緊急事態宣言解除までは利用控えに加え、事業所から密を避けるための利用調整もありました。法人内通所介護の営業時間縮小もあり、感染拡大のたびに実績がなく請求できないプラン管理件数が増加しました。

感染拡大防止への対応を介護報酬算定で評価したため、利用者は利用料が増えて支援内容や回数に制限を受け、事業者は限度額調整の回数減を避けるため上位区分の報酬算定を見送るなど双方の負担が増加しました。感染不安が強く利用停止したまま個別事情も重なり、１年が経過しても代替支援に繋がらないケースも複数あります。コロナ禍で外出と他者との交流が制限され利用者の心身機能に及ぼした影響は少なくありません。

８月頃から新規依頼は増え始め、訪問系サービスは需要に供給が追い付かない状況です。クラスター発生などの影響で利用調整も増加、事業者により経過観察期間を求められるなど対応は異なりました。利用者家族は陽性あるいは濃厚接触となった場合も周囲に知られる恐れから連絡がないことも多く、予防対策と合わせて引き続き啓蒙が必要です。

病院の面会制限で家族も事業者も利用者の状態が把握しづらい中、特に看取りなど短期間に対応を求められる支援は調整が難しくなりました。施設入所中の面会制限に戸惑いもあり自宅に連れ帰りたいとの相談や介護老人保健施設への入所は増えました。入所施設の選択には費用負担の壁が存在し経済的格差により選択肢は限定されます。認知症の利用者自身が支援を拒否し利用につながらないケースが一定数あり、関りを模索しています。徘徊や収集癖から自宅がゴミで埋まってしまうなど利用者家族だけでは解決できない課題も多く、関係機関と協力しながら対応しています。会議や研修はWEB開催中心となり対応力を高めていく必要があります。

### （２）企業委託型保育事業

今年度は待機児童の利用は無かったものの、泊り保育は月５回、４名から５名の利用があり、日曜・祭日保育のキャンセルも少なかったので、６３１名と昨年より４４名の利用増となりました。

吉田病院で新型コロナウイルス感染症が集団発生し、職員のみなさんに、日頃の感謝と励ましたいとの思いで、保育園と共同で寄せ書きを送りました。

保育内容の面では、異年齢保育で子どもが育つことの大切さを実践で深めつつ、乳児と幼児に分けてゆったり過ごせるように保育の工夫を行いました。また、毎月夜間時は延長保育士と連携し、日・祭日も避難訓練及び心肺蘇生訓練を実施し、少ない職員体制の中での教訓を見出し改善してきました。子育て支援を念頭に看護師等が安心して利用できるように、毎月１回子どもの様子をポスターにして掲示し、あゆみ便りを発行しました。

運営に当たっては四者協議会の開催が難しくなっていますが、問題が発生した時には随時、報告し改善を行っています。今後も委託法人と連携し、迅速な受け入れ対応の推進と運営の充実を図っていきます。

### （３）高齢者生活共同運営住宅事業

入居率の課題に関して、５月に１名が入居され９名となりました。入居相談から契約、入居開始されるまでには、新型コロナウイルス感染症の影響から期間を要しましたが、想定より早くあやめの里での生活を始められることができました。空室１室に関しては、近隣在住者から具体的な入居相談や見学への対応を行いましたが、契約には至りませんでした。１２月に２年ほど前に見学された方からの空き状況の問い合わせがあり、１月に契約を締結することができ満室１０名での生活が始まりました。

　　　１１月奈良市よりあやめの里における事業において有料老人ホーム設置届を提出するよう指導を受けました。届けるにあたり、入居一時金の取り扱いについて検討しました。入居利用契約を一部変更し２０２１年度に提出が可能となるよう準備を進めました。

入居利用者の生活においては、身体状況の大きな変動もなく過ごされました。新型コロナウイルス感染予防対策として、マスク着用や帰宅時の手指消毒など実施していただくなどご理解を図り、個別ご相談に対応しました。

## 14．地域における公益的な取組・活動等の状況

### （１）社会福祉法人減免、低所得者への法人独自減免の実施状況

減免件数は社会福祉法人減免では特養ホーム…延１５６件（前期差▲１８件）、ショートステイ…延９３件（前期▲２０件）と特養ホーム・ショートステイ合計で前期比約１３％減となり、それに伴って社会福祉法人減免額は前期比９３．４％となりました。

法人独自減免は特養ホーム…６６件、地域密着型通所介護…５１件あり、社会福祉法人減免件数と併せた延総件数は３６６件で前年４１７件に対し８７．７％でした。同減免総額は全体で４，４６０，７６２円（前年比８２．４％）となり、特養ホームの在籍者の不在日数の減少が反映しました。一方、特養ホームの延利用日数に対する社会福祉法人減免額比率が前年比で約３％程度増加、相対として減免対象者が増加しています。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 1. 社会福祉法人減免 | | ②法人独自減免額 | | ③減免合計 | |
| 2020年度 | 前年 | 2020年度 | 前年 | 2020年度 | 前年 |
| 特養ホーム | 3,179,820円 | 3,377,271円 | 538,292円 | 1,257,962円 | 3,718,112円 | 4,635,233円 |
| ショート | 636,320円 | 708,340円 | － | 1,970円 | 636,320円 | 710,310円 |
| 地域密着通所 | － | － | 106,330円 | 65,881円 | 106,330円 | 65,881円 |
| 合 計 | 3,816,140円 | 4,085,611円 | 644,622円 | 1,325,813円 | 4,460,762円 | 5,411,424円 |

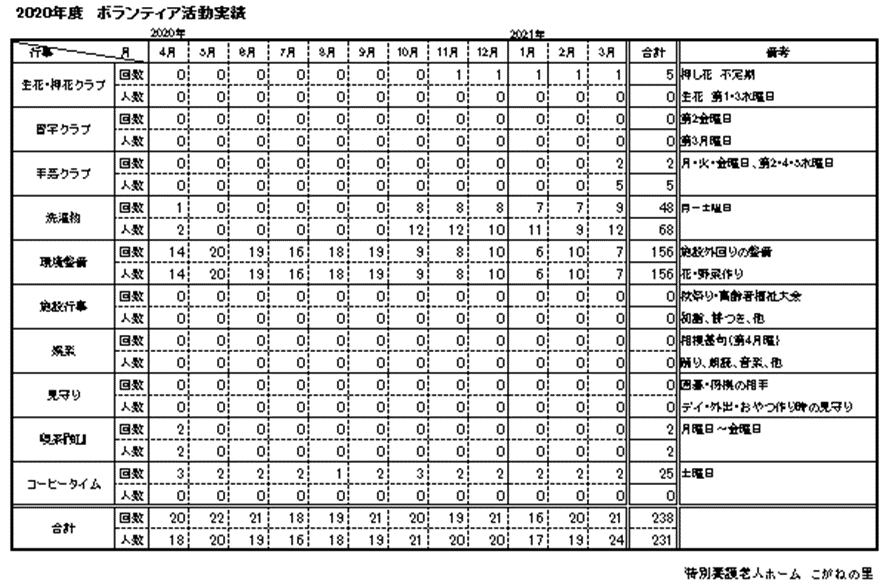
　※上記は、当初の介護報酬請求額から集計しているため、利用者負担軽減額と一致しない場合がある。

### （２）ボランティア組織の活動状況

２０２０年度は新型コロナ感染症の影響から、屋内での活動を休止し感染予防対策を継続する事になりました。その影響から、活動回数は２３８回(前年９０９回から▲６７１回)、延人数は２３８人 (前年２２８０人から▲２０４２人)と活動回数、延べ人数共に大幅な減少となりました。　ボランティアインフォメーションセンター、ボランティア協会などの募集紹介事業も停止し、新規のボランティア募集も進みませんでした

ボランティア会議で再開時期などを検討してきましたが、感染状況から全面的なサイア回には至らず、一部限定した活動のみの再開となりました。

休止中は、ボランティアさんとのつながりを継続するため、毎月ボランティアニュースとこがねの里だよりを発行、施設内での活動の中で自宅できるものについては、活動材料を届けさせていただき取り組んでいただきました。また、各ボランティアさんへの訪問と電話で、近況報告や情報交流等に取り組みました。



### （３）その他活動

| 活動内容 | 日時 | 参加又は件数 | 備考 |
| --- | --- | --- | --- |
| 第18回こがねの里秋祭り | 中止 |  |  |
| 西大寺北地区防災訓練 | 2020/10/31 | ２名 | 夜間防災訓練 |
| 確定申告無料相談会 | 中止 |  |  |

| 受け入れ実習種別 | 学校・実施機関 | 期間 | 人数 |
| --- | --- | --- | --- |
| 社会福祉士実習 | 関西福祉科学大学 | 8/10～9/8 | １名 |
| 龍谷大学 | 11/2～12/7 | ２名 |
| 保育士実習 | 奈良佐保短期大学 | 9/1～9/14、11/9～11/21、12/7～12/19 | 各期間１名の延３名 |

　　　＊　新型コロナウイルス感染症の状況により中止…日本福祉大学(社会福祉士実習)、奈良歯科衛生士専門学校、奈良教育大学(教員前実習) 、奈良県職員福祉施設体験研修